

(案)

府消委第 号  
令和 年 月 日

内閣総理大臣 岸田 文雄 あて

消費者委員会委員長 後藤 卷則

答 申 書

令和4年10月5日付け消公協第209号をもって当委員会に諮問のあった、消費者の自主的かつ合理的な選択の機会を確保する観点から、電力市場における競争環境整備に向けた諸課題（内外無差別の卸取引など）について、下記のとおり答申する。

記

別添「電力市場における競争環境整備に向けた諸課題に関する消費者委員会意見」の内容を踏まえ、消費者の自主的かつ合理的な選択の機会を確保する観点から、経済産業省に対応を求めるなど、消費者庁において必要な取組を進めることが適当である。